

NPO法人「あすの夢土木」との共催で、伊丹市立荻野小学校にて高学年の児童28名とその保護者を対象に、防災教育出前講座を実施しました。

今回の講座では、4年生と5・6年生の2班に分かれて、水害再現ジオラマ模型を用いた都市型水害の再現とフリップを使った解説、防災クイズ、ハザードマップの読み取り方法と危険箇所の確認を行いました。

子どもたちは、河川氾濫や津波によって家や車が流される様子に「わぁ！！」と驚きの声を上げ、またハザードマップをじっくりと見ながら、自宅周辺の浸水深や危険箇所を真剣に確認していました。その姿から、防災意識を少しでも高めるきっかけを提供できたのではないかと、確かな手応えを感じました…！

実際に、講座終了後に実施したアンケートでは、「大雨になったらすぐ逃げたほうがいいことが分かりました」や、「津波が改めて怖いと知りました」、「災害についてもっと知ろうと思った」など多くの感想を頂いたことで、私たちが伝えたい内容がしっかりと参加者に届いていたことを実感してとても嬉しく思いました。

また、保護者の方々からは、建設コンサルタントの仕事への関心を寄せて頂き、私たち自身も改めて自分たちの仕事への誇りを感じることができました。

河川氾濫や津波といった水害については、理解が難しい側面もありますが、これからも伝え方を工夫しながら積極的に活動を続けていきたいと思っております！！



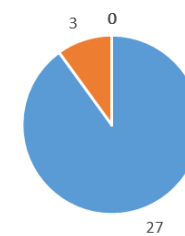
ハザードマップ確認中…



模型とフリップを使った水害の再現・解説の様子

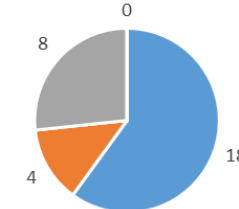
アンケート結果（一部抜粋）

雨が沢山降る事を
危ないと思いましたか？



■ そう思った ■ 少しそう思った ■ どちらでもない
■ あまりそう思わなかった ■ 全然そう思わなかった

TVで水害の動画を見た時と、模型を使って
街に水が溢れているのを見た時では、どちら
の方が危険性についてよく分かりましたか？



■ 模型 ■ TV等の動画 ■ どちらも同じくらい
危ないと思う ■ どちらも危ないと思わない

ありがとう
ございました★

